

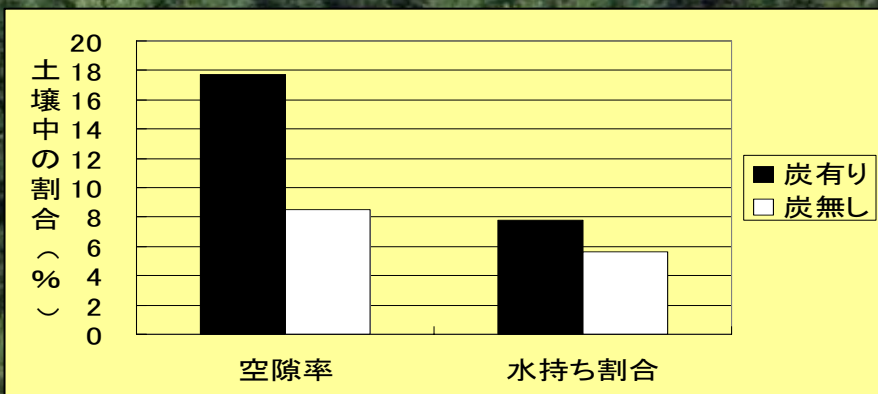
木炭の農地施用は 土壌を改良し 環境保全に貢献します

1. 農地の土壌改良効果があります。



施設土壌に木炭を施用している事例

木炭の農地施用は、土壌の空隙率や保水性
(水持ち量)を向上させることができます。



背景はサンブスギの美林です。将来へ残したい風景です。

木炭を施用したナシ園の土壌断面写真



黒色部は、木炭が施用されています。木炭の土壌改良効果によって、新しい根が増加しています。

2. 荒廃した森林の整備が推進されます。

木炭を使うことによって、製材品に利用できない溝腐病被害材や製材残材等の循環利用が進み、荒廃した森林の整備・再生が推進されます。

3. 地球温暖化対策に貢献します。

木炭は農地に炭素を固定でき、空気中の二酸化炭素の濃度を減少させることができます。

10アールの農地に炭素含有率が90%以上の木炭を320kg施用した場合は、約1トンの二酸化炭素を土中に固定したことになります。(320×0.9×44/12=1,056kg)

背景は木炭の電子顕微鏡写真です。表面には約20～30 μ m(1 μ m=1000分の1mm)の小さな孔が無数にあります。この孔が土壌改良効果を生み出します。

このリーフレットは、千葉県木質バイオマス新用途開発プロジェクト「高機能木炭部会(部会長: 本英機)」が高機能木炭の普及を目的に作成した4種類のリーフレットの1つ(No.2)です。

お問合せ先: 千葉県環境生活部資源循環推進課バイオマスプロジェクトチーム ☎ 043(223)2682
千葉県農林総合研究センター森林研究所 ☎ 0475(88)0505
木炭の生産・販売: 千葉県ウッドリサイクル協同組合 ☎ 0475(53)4055

発行 2008年10月

